

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：大山崎町

プロジェクト名	おおやまざきみらい創生プロジェクト	実施期間	平成25年度～平成27年度	テーマ	みらいづくり	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>昭和41年に始まった円明寺が丘団地の開発は、本町の人口増加と京阪神のベッドタウンとしての発展の契機となった。計画的に整備されたこの団地は、良好な住環境が形成されている一方で、建設から50年近くを経て、集合住宅の建物の老朽化や高齢化が進行している。この地域に隣接する長岡京市域に、本年12月に阪急電鉄京都線の新駅が開業となるため、住宅需要の動向などをふまえた住民のライフステージや時代のニーズに応じた居住地の再整備が必要である。</p> <p>また、町の中央部での旧集落地では、狭隘な生活道路が多く、住環境面、交通安全面、防災面などでの課題を抱えている。京都第二外環状道路側道の整備によって通過交通の転換が期待される場所であるが、併せて、京都第二外環状道路の側道を活用し、小泉川に人道橋（歩行者専用道路）を設置し、中学校通学路の整備を計画している。この通学路にかかる整備は、「都市計画マスタープラン」での「大山崎町将来都市構造」における「大山崎散策回廊」の一環でもあり、町の将来にかかる重要な都市整備として位置づけている。</p> <p>京都第二外環状道路の整備に関連しては、高架下空間を活用した公園整備を町民のワークショップの結果（平成23年度に実施済）を基に進めている。広域交通網の整備による利便性を活かした都市機能の充実を図る一方で、生産緑地地区指定の導入による農地保全や緑地の活用を図るなど、自然環境及び都市環境の総合的な保全・整備が必要である。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>本町の将来構想における体系的で安全な都市・生活基盤づくりを実施。</p>						
	総事業費（千円）	138,413	本年度事業費（千円）	9,913	交付金額（千円）	2,500	
プロジェクトを構成する事業の平成25年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	生産緑地地区指定調査業務委託	交付対象事業	本年度から導入する生産緑地地区の指定にあたって、申請受付台帳の整備と現地調査を実施。	生産緑地の計画・指定・縦覧図書の作成及び審査会の開催や指定地の明示杭などの作成設置			
	公園整備事業	交付対象事業	京都第二外環状道路と大山崎ジャンクション接続部を活用した公園整備の実施設計を策定。	平成26年度施工実施予定の京都第二外環状道路高架下を利用した公園を整備する為、ワークショップ等の意見を考慮した実施設計を作成			
	都市計画マスタープラン見直し検討事業	交付対象事業	平成27年度に目標時期を迎える「都市計画マスタープラン」の見直しを実施。本年度は、地域別構想を策定。	都市計画審議会を開催するなど、平成26年度の完成（印刷）を目指して平成37年度を目標に作成			
	都市計画道路整備事業	交付対象事業	町域の都市計画決定道路の見直しにかかる調査の実施及び素案を策定。	大山崎町の都市計画道路について計画の存続又は廃止するための各路線の調査・上位計画との関係などを考慮しカルテの作成や新たなネットワークの策定			
	歩道整備事業	関連事業	円明寺が丘団地内の1.5m程の歩道を自転車歩行車道として有効幅員3.0mを確保して整備。	平成25年度 70.0m/約100.0m(約70%完了)			
	大山崎中学校通学路整備事業	関連事業	京都第二外環状道路の側道を活用した中学校への通学路（人道橋）の新設設計業務及び用地購入。	用地買収のための現地測量 詳細設計の作成			
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	生産緑地の保全地域を具体化		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)		指定地区：21地区、総面積：3.85ha	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標数値はありませんが、生産緑地の登録・指定杭による明示ができ、一定の成果は得られたと考えられるため。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：大山崎町

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p> <p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>都市計画マスタープランにつきましては、新たな目標年度を平成37年度とし、都市計画審議会を経て地域別構想の策定などを行った。 その他の事業については、平成26年度に継続する事業であり、成果については現時点では判断できないものであるが、公園の設置・道路整備などを行うにあたり、重要な事業として位置づけられている。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>生産緑地の指定により、大山崎町マスタープランに記載されている緑地の保全地域を具体化することが出来た。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>公園整備事業に関しては、ワークショップの活用により、住民要望を取り入れた形で、新しくできた京都第二外環状道路高架下などを利用した、新規都市公園の設置事業に向けての詳細設計の実施を行うことができた。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。